

JAグループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 5 0 号

【平成 25 年 3 月 4 日（月）発行】
発行：JAグループ宮城災害復興本部
編集：JA宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

1. 震災復興、農業振興で東北農政局長と意見交換
2. 「震災復興から新規就農を考える」をテーマに食料フォーラム開催
3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 18 次請求
4. JA岡山西女性部が県内被災地を視察
5. JAグループ宮城が、東日本大震災から 2 周年で黙祷を呼び掛け

1. 震災復興、農業振興で東北農政局長らと意見交換

JA宮城中央会の菅原章夫会長らは2月8日、仙台市青葉区のJAビル宮城で、東北農政局の五十嵐太乙局長と、震災復興と宮城の農業振興に向けて意見交換。現場の声を農政に反映していくため、今後とも定期的に懇談の場を設けることを確認しました。

JA側は、震災復興に向けて市町村やJAのマンパワーが不足していることや、原発事故の損害賠償請求が増えているのに支払いが滞っている現状を説明。第37回JA宮城県大会で決議した農業振興策なども紹介し、支援を求めました。

これに対し、五十嵐局長は「地方の声を大事にしよう、ということで本省からはなるべく現場に向かうよう、指示を受けている。現場の声を丁寧に聞いて、農林水産業の復興と発展につなげていきたい」と、話しました。

懇談会には、JAグループから中央会の竹中莞爾副会長、佐藤純一常務、全農みやぎ県本部の千葉和典本部長、農林中金仙台支店の山田秀顕支店長が、農政局からは鳩山正仁、釘田博文局長が同席しました。



2. 「震災復興から新規就農を考える」をテーマに食料フォーラム開催

「夢のある農業とは～震災復興から新規就農を考える」をテーマに2月15日、仙台市青葉区の仙台市青年文化センターで、食料フォーラムが開かれました。市民や生産者ら約400人

が参加。パネルディスカッションでは、JAみやぎ女性組織協議会の加藤重子副会長、東北大学大学院の盛田清秀教授、民俗研究家の結城登美雄さん、農業ジャーナリストの青山浩子さんの4人が、若者の定住対策や新規就農の受け入れ手法などについて、意見を交換しました。

農業再生に向けた法人化に関連して、加藤副会長は「どうしても利益誘導になりがちだが、みんながまとまって生き生きとしている姿を見せることが大事だと思う」と、直売所で学んだ事例などを紹介しました。この食料フォーラムの様子は、3月23日（土）14:00から15:00まで、NHKEテレ（教育テレビ）で放送されます。



3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第17次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は2月20日、東電への第18次請求を、11億7,928万7,873円とすることを決め、2月28日に請求しました。出荷停止に伴う肉牛の損害が約3億8,000万円と最も多く、次いで牧草の利用自粛等に係る損害が約3億2,700万円、牧草地の除染に係る損害が約2億5,800万円となっています。

1月末現在で、同協議会の請求総額は約213億8,400万円、受領総額は約125億500万円で、請求対比58.5%にとどまっています。

4. JA岡山西女性部が県内被災地を視察

JA岡山西女性部の部員ら約70人が3月1日、宮城県を訪れ被災地を視察。JAみやぎ女性組織協議会の八嶋洋子会長、JAみやぎ亘理女性部の木村律子部長らと懇談しました。

八嶋会長は「全国の女性部の皆さんには、これまで義援金や物資支援など多くの支援をいただき物心両面で支えてもらいました。岡山県女性部にも、菜種油や手編みのマフラーなど多くの支援をいただいたことに改めて感謝



亘理町荒浜の「鎮魂の碑」に献花する世良部長

します」と語りました。一行は木村部長の説明を受けながら、亘理町の荒浜地区、イチゴ団地、仮設住宅、鳥の海などを視察。荒浜地区では完成したばかりの「鎮魂の碑」に献花しました。

木村部長自身の被災体験や津波の被害状況などの説明に、「2 年が経つのにこの程度しか復興していないなんて」「家があったであろう場所に何も無いことに愕然とした」など、女性部員は被害の大きさにショックを受け、涙を流す人もいました。

JA 全国女性組織協議会の会長を務める JA 岡山西女性部の瀬良静香部長は「これまで遠くからの支援しかできなかったが、今回、直接被災地を見ることができてよかったです。これからも女性組織一丸となって被災県を支えていきたい」と語りました。一行は、名取市閑上も訪れ、日和山公園の慰霊碑に献花しました。

5. JAグループ宮城が、東日本大震災から2周年で黙祷を呼び掛け

多くの尊い命が失われ、各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災から、平成 25 年 3 月 11 日で 2 年になります。JAグループ宮城ではこの日、震災で亡くなられた方々の追悼と、被災地の一日も早い復興を願い、JAビル宮城に勤務するグループ職員、および県内JAに対して、大地震発生時刻（14 時 46 分）に、業務等に支障のない範囲で黙祷をすることと、災害への備えや避難場所等の確認をするよう呼び掛けました。

また、県内のJAに対しては、行政および関係機関、地域等で行う大震災関連の追悼行事への参加を呼び掛けました。

以 上